



連携室
だより

ろうさい

第22号
令和7年1月吉日
地域医療連携室

青森労災病院 理念 「やさしく、あたたかい病院」

- ・ 患者さんの権利を尊重し、患者さん中心の医療を行います。
- ・ 医療の質の向上をめざします。
- ・ 勤労者医療・地域医療等における役割を推進します。



新年のご挨拶



院長 玉澤 直樹



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年中はいろいろとご協力・ご支援いただきまして心よりお礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

クラウドファンディングによる電動ベッドの導入計画（2024年2月1日から3月31日）では、今年度の集計で多数の皆様方のご支援を賜り、無事大成功裏に終了いたしました。添えられましたあたたかいメッセージに感謝申し上げ皆様方のご厚情を患者さんの安全と快適な入院療養に役立てて「やさしく暖かい医療」を提供して参ります。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は2020年（令和2年）1月に国内第1例目が報告され、2023年5月8日から5類感染症となりました。しかし未だに、我々の医療情勢・社会・経済情勢に深刻な影響をもたらしています。

全国の病院において、新型コロナの流行期には一般患者の受け入れ制限や感染を恐れる心理的な影響もあり入院稼働率が低い時期が続きました。2023年5月の「5類移行」から1年が過ぎた2024年度に入っても1日当たり入院患者数および病床利用率の低下が、コロナ発生年次の令和2年のレベルまでに回復しない状況が続いています。新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金や各種助成金などがほぼなくなり、さらに物価高騰も相まって収益が大幅に減ったことによるとされています。もともと病院の経営が困難になってきていたなかで、新型コロナウイルスによりさらに環境が悪化しました。

病院が健全に機能し運営されていることは、地域の患者さんに対して安心な医療を行うためにも大切なことです。しかし、地域医療構想の進展、働き方改革に伴う労働時間の制約、人材不足、医療材料等の値上げなどの問題は、全国的な病院の問題であり、診療報酬対応も含めた財政支援や特例的な補正予算などを国に対して要望していくことも大切です。地域医療構想においても、上述した新型コロナウイルス感染症への対応状況に配慮しつつ、病床数など改めて検討することも肝要と考えられます。

当院においても経費削減はもとよりどのように病院を運営していくか、地域の医療ニーズを踏まえて病院機能を見直し・合理化すること、そして地域における病院間の連携を深めることが急務です。あらためて、連携医療機関の方々のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。不安定な経営環境下で方向性を見誤ることなく、急性期病床から回復期病床（地域包括ケア病棟）まで、切れ目の無い・質の良い医療を提供するケアミックス型の病院として、この地域の医療に貢献して参ります。

皆様にとりまして本年がより健やかで、充実した年となりますよう祈念致しまして、年頭のごあいさついたします。

腹部消化器がん高精度放射線治療

副院長
がん診療センター長
放射線治療科部長 真里谷 靖

当院では、2020年以降、定位放射線治療（ピンポイント照射）や強度変調放射線治療など高精度放射線治療の活用を推進し、地域のhigh volume centerとなるべくがん治療の実績を積んでまいりました。対象としては、もちろん前立腺がん、原発性肺がん、転移性肺腫瘍、転移性脳腫瘍など従来からよく知られる相手が主体と言えますのですが、最近では、消化器がん、前立腺がん以外の泌尿器系がんなどに対しても積極的にトライし、良好な治療結果を得ています。今回は、我々が力を入れている腹部消化器がんの高精度放射線治療を中心にお話したいと思います。

腹部消化器がんの放射線治療と言えば、おそらく以前は、直腸がんの術前化学放射線療法や進行胃がんの出血を減ずる対症的放射線治療などしか思い浮かばなかったのではないのでしょうか。これは、消化器系全般に臓器の放射線感受性が高く放射線治療の対象としてはやや難しいこと（有害事象への注意が必要）、CTを中心とした旧来の画像診断では腫瘍の位置や進展範囲が分かりにくかったこと、また、呼吸や蠕動に伴う臓器運動に治療技術が対応しきれなかったことなどが主な理由であったと考えられます。

しかし、最近の画像診断の格段の進歩（高解像度のCT、組織性状の違いを捉えることが出来るMRI、がん病巣の描出に優れるPET/CTなど）によって、放射線治療の標的となるがん組織が鮮明に描出、識別されるようになってきました。一方、高精度放射線治療という新たな技術は、がんへの線量集中性だけでなく、周囲正常組織・臓器への無用な照射回避、照射装置付帯設備による体動の影響低減、同付属CTを用いた精緻なイメージガイドと高度の再現性確保といったことを可能ならしめています。

そして、このような進歩の寄与が最も大きかったのが、実は腹部消化器がんの放射線治療なのではないかと私は考えています。例えば肝臓についていえば、従来はCTに頼ってきた標的病変の（容易ではなかった）描出が、MRIなど複数の種類のイメージと融合させることで驚くほど明瞭なものとなりました。また、interventional radiology（IVR）専門医のアシストで標的周囲に金属マーカーを配置出来るようになり、イメージガイドが容易かつ正確になりました。この結果、胃腸などの管腔臓器では内容物やガス貯留対処などの難物がまだ残ってはいるものの、肝臓や膵臓などの実質臓器に関しては、かつて想像出来なかった高レベルの照射技術（標的体積内同時ブースト（SIB）法など）も適用が可能となっています。

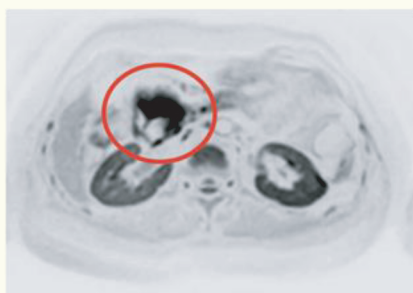
私が現職に着任した2020年以降、毎年当科の治療成績を“日本放射線腫瘍学会”という国内放射線治療の中心となる学会で発表していますが、転移性肝腫瘍、肝細胞がん（初期治療

成績)、肝細胞がん、筋層浸潤膀胱がん、局所進行膵がんと、テーマの大部分が腹部消化器がんを対象としており、夫々の演題で全国の代表的施設や粒子線治療施設の治療成績にひけを取らない結果を示すことが出来ております。これらは、患者さんをご紹介くださった院内外関連各科の先生方のご協力は勿論のこと、放射線治療担当の診療放射線技師、外来・病棟の看護師、入退院支援スタッフ、がんリハビリテーション・スタッフ、公認心理師、栄養管理スタッフなどの関係諸氏の弛まぬ努力と、患者さん達ご自身の頑張りによるものです。

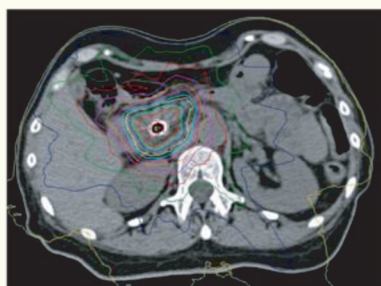
残念ながら、同じ国内でも地方、特に青森県など北日本の地方における医療資源の乏しさは、常々強く感じられるところですが、十分とは言えない設備や体制でも人間の繋がりや日々の努力が時間と共に形になっていくことは、逆に地方だからこそ実感できるのではないのでしょうか。当院における腹部消化器がんの高精度放射線治療は、まだまだ知られていないとは思いますが、外科的治療や薬物療法に比肩し得る強力かつ新たな治療選択肢の一つとして、これを機会に皆様にご記憶いただければ幸いと存じます。

標的体積内同時ブースト（SIB）法で治療した膵がんの一例

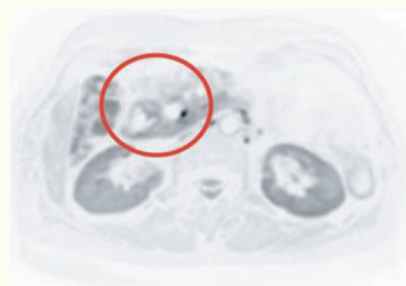
MRI



治療前

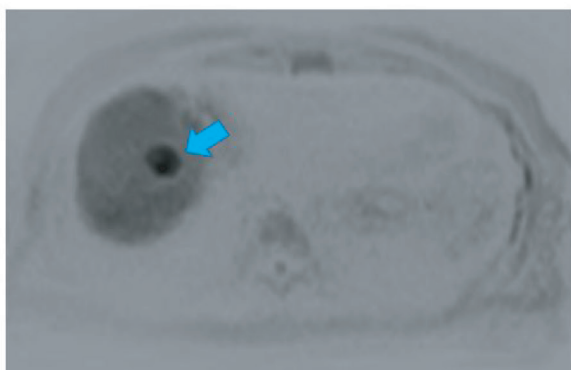


SIB の線量分布図

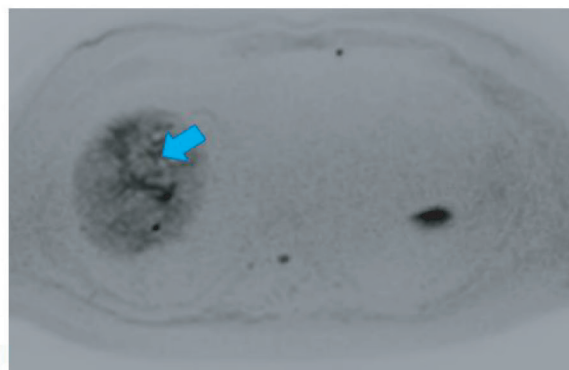


治療後 6 ヶ月

肝細胞がん・体幹部定位放射線治療の一部



治療開始前



MRI

SBRT・6M後/完全寛解、限局性炎症





青森労災病院 FAX・電話による診療予約のご案内

当院では、紹介患者さんの待ち時間短縮を目的に、FAX・電話による診療予約を実施しております。

【専用FAXによる予約方法】

予約受付時間：午前8:30～午後5:00（ただし、状況によって対応します。）

予約FAX番号：0178-33-1690（地域医療連携室直通）

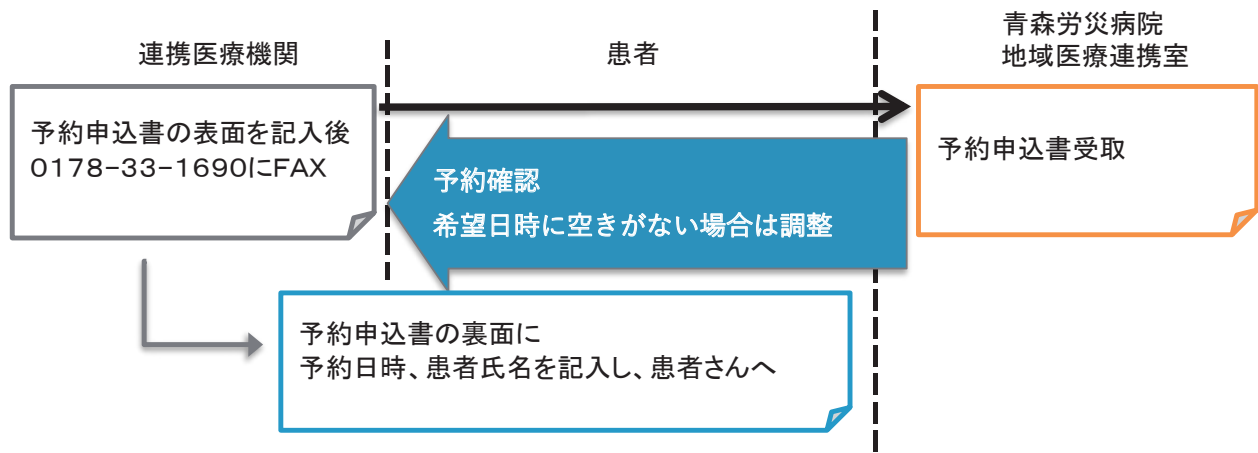
予約申込書：当院ホームページ≫各部門のご紹介≫地域医療連携室のページからダウンロード可能です。

郵送またはFAXでもお送りしますので、ご希望の際はご連絡ください。

※予約の申込につきましては、診療日前日までとなっております。

当日の予約については、お電話のみでの対応とさせていただきます。

◇利用手順

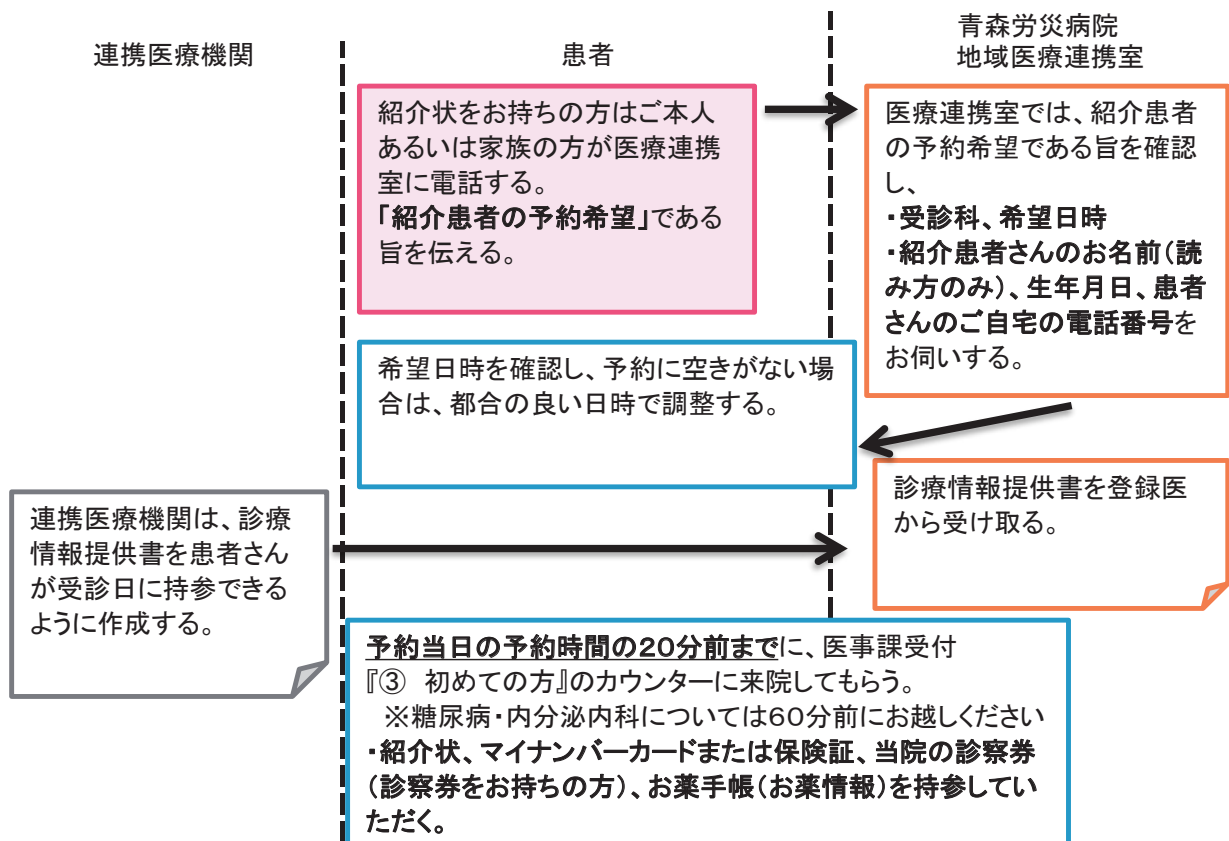


【電話による予約方法】

予約受付時間：平日午前8:30～午後5:00

予約電話番号：0178-33-1551 内線2515

◇利用手順



※FAX予約では、事前にカルテ登録を行います。電話予約の場合、当日のカルテ登録となりますので若干お時間を頂きます。

予 約 申 込 書

(ふりがな)			性 別	旧 姓
患者氏名	(姓)	(名)	男 ・ 女	
生年月日	明治・大正・昭和 平成・令和 年 月 日 歳			
住所	〒 電話番号 — —			

受診希望日時	令和	年	月	日	曜日	時	分
--------	----	---	---	---	----	---	---

受診希望科（○をつけてください） 医師の指定がある場合 医師名〔 〕宛		
☐ 呼吸器内科 ☆	☐ 形成外科	☐ 眼科 ☆
☐ 消化器内科 ☆	☐ 脳神経外科 ☆	☐ 耳鼻咽喉科 ☆
☐ 血液外来 ☆	☐ 皮膚科	☐ リハビリテーション科
☐ 糖尿病・内分泌内科 ☆	☐ 心臓血管外科 ☆	☐ 健康診断部
☐ 神経内科 ☆	☐ 泌尿器科 ☆	☐ 歯科口腔外科 ※☆
☐ 外科 ☆	☐ 放射線診断科 ※☆	
☐ 整形外科 ☆	☐ 放射線治療科 ※☆	

※の放射線診断科・放射線治療科・歯科口腔外科への予約は、直接診療科外来へ電話予約をお願いいたします。

☆の診療科につきましては、診療情報提供書も併せてお送りくださいますようお願いいたします。

(注)産婦人科は休診、循環器内科・神経科・麻酔科は、院内頼診のみとなっています。(令和7年1月現在)

主保険	保険者番号		区分	本 人 ・ 家 族
	記号・番号		資格取得日	
後期高齢者 受給者証・ 公費医療	市町村・負担者番号		負担割合	割
	受給者番号		資格取得日	

↑ 保険証のコピー貼付でもかまいません

医療機関名	
所在地	
電話番号・FAX番号	
送信担当者名	

青森労災病院へ 診療予約をされた方へ

◎お名前

様

◎あなたの予約日時は

月
日 ()
時
分です

◎予約当日は

- *予約時間の20分前までに、『③はじめての方』の窓口（正面玄関を入り左側）までお越し下さい。 ※糖尿病・内分泌内科については1時間前におこしください。
- *診療上の都合により、多少時間がずれることもありますのでご了承下さい。

◎お持ちいただくもの

- ☐ 紹介状（必ずお持ち下さい）
- ☐ マイナンバーカード又は保険証（公費医療の受給者証など）
- ☐ 本状
- ☐ 診察券（過去に青森労災病院に受診歴がある方）
- ☐ お薬手帳（または、お薬の内容が記載されている用紙）



交通ご案内

- ◆八戸自動車道八戸 IC より約 8 km
- ◆八戸久慈自動車道八戸南 IC より約 6 km
- ◆JR 八戸線白銀駅より約 700 m
- ◆市営バス「労災病院通」バス停
 - 鯨方面 ① より徒歩 5 分
 - 市庁方面 ②
- ◆市営バス「労災病院前」バス停
 - 市庁方面 ③ より徒歩 1 分
 - 岬台団地方面 ④

◎お問い合わせ先

青森労災病院

地域医療連携室

TEL 0178-33-1551 内線2515